

パンタナール通信

南北米福地開発協会 会報 2004年8月1日発行 第11号

レダ近郊の共栄の為に



エスペランサから中学校の先生と生徒がレダ視察

レダの発展は彼らの向学心を大いに刺激した。今後、レダでは優秀な生徒を集めての指導者教育プランが検討されている事を聞き、これまた湧いていた。



南北米福地開発協会事務局
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前六一九一四

ファックス (03) 3407-0145
電話 (03) 5774-0544

レダ近郊の共栄のために
南米でも発展が遅れた国パラグアイ、その中でも過疎地であるチャコ地方レダで南北米福地開発協会の開発を一九九九年十月にはじめました。それ以来、毎年近隣の村の発展に寄与するため、学校建設支援をなすとともに、村の青年達を雇用し、技術教育を施してきました。
開発途上国への援助がただ単に食料や衣料、そして、経済的支援で終わるのでなく、その地域が自立できる事を願い、援助を進めてまいりました。
小学校の校舎建設、教育教材の支援等はその地域の子供達の教育水準を高め、識字率を向上し、基礎教育がなされる事により、将来に必ず、その地域の活性化がなされると確信しての援助で、今年もインディヒナの村エスペランサに中学校を建設する事にしています。
それと共に、適切な教育を今日まで余り受けた機会のなかつた青年達を雇用し、レダ建設を通しての青年に対する技術教育に入れてきました。今後の課題は、近郊の村との共栄を図つていくためにレダ地域にその地域に根ざした産業を興し、経済的に自立することが急務となっています。
地域に雇用を生み出し、生活を改善していく産業を生み出すため会員の皆様の知恵と経験を是非用いてください。現地に視察団を秋頃送る計画です。レダ近郊で成功したモデルを作り、それが他の地域にまで広げられればと現地で今も努力しています。

(柴沼記)

**第五回国際協力青年ボランティア隊
インディヒナの村、エスペランサで中学校建設**



レダにて技術教育を受ける青年達



給水塔建設作業中



宿舎建設作業中



排水溝建設作業中

九	八	七	六	五	四	三	二	一	技術教育
・整地作業及び道路建設	・植樹技術（苗木の管理、植樹作業、剪定、青虫対策、水管理等）	・農業技術	・建設技術（土台工事、柱の組み立てる方、窓及びドアの取り付け、瓦の葺き方、上下水道の配管屋根瓦工事等）	・建設技術（土台工事、柱の組み立てる方、窓及びドアの取り付け、瓦の葺き方、上下水道の配管屋根瓦工事等）	・浄水場管理の技術と実践	・機械技術の教育と実践（エネレタ、ボンプ、ボルジ盤等の機械工具作業及び修理）溶接技術	・ボート、車、トラックター等の運転技術、修理、管理の教育	・南北米福地開発協会が南北米、パラアイ国、のチャコ地方レダを開発し、その間、近隣のインディヒナの村により、4年半が経ちました。4年半が経ちました。それらの経験を通して、村の復興をなす事も可能になつたのです。	南北米福地開発協会が南北米、パラアイ国、のチャコ地方レダを開発し、その間、近隣のインディヒナの村により、4年半が経ちました。4年半が経ちました。それらの経験を通して、村の復興をなす事も可能になつたのです。